

2025 TRAINING
政策研究大学院大学

医療政策 短期特別研修



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

医療政策短期特別研修

1 コースの趣旨・目的

少子・高齢社会、人口減少への対応はわが国喫緊の課題であり、医療はその重要な柱の1つです。その際には、狭義の医療に限定せず、保健・介護・福祉・住宅・雇用などの関連領域、さらにはまちづくりまで視野に入れた総合的・戦略的な政策展開を図る必要があります。本研修では、講義とディスカッション、演習を組み合わせながら、少子・高齢社会、人口減少と医療にかかる諸問題の本質の把握、政策の変遷・理念・課題、具体的な政策展開の方法等につき体系的な研修を行います。また、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の策定、医療従事者の働き方改革や医師偏在対策、地域包括ケアの推進や地域共生社会の構築などが並行して進められていますが、本研修ではこうした政策課題への対応についても講義します。なお、この研修は、厚生労働省及び総務省の協力の下に政策研究大学院大学と自治大学校が連携して実施するものであり、研修の講師は、医療政策を専門とする大学教授・研究者や第一線でご活躍の医療関係者のほか、中央官庁の幹部職員が務めます。

2 研修の対象者

地方自治体の職員の方、及びシンクタンクや医療関係団体等の職員の方を対象とします。地方自治体の場合、現職が医療関連部門であるかどうかは問いません。年齢・役職に関わらず、旺盛な学習意欲とディスカッション等への積極的な参加意欲のある方を歓迎します。

3 研修の内容・進め方

本研修は、医療政策のポイントを押さえた講義と、事例演習、グループ討議などの演習を組み合わせ、短期間で高度な医療政策の企画立案能力を修得できるよう、体系的なカリキュラムを用意しています。なお、本研修は、研修生の自己研鑽や問題発見能力の向上も重視していますので、研修生には研修開始前に一定の予習（自治体の医療計画や参考図書を読むこと等）をしていただくほか、研修開始時に問題意識の紹介、最終日に研修成果の発表を行っていただきます。

予習および問題意識の発表

講義

医療政策の企画立案に必要な課目を用意した体系的なカリキュラム

- 総論 ① 医療政策概論
- ② 人口推計の手法、老年学からみた高齢者の特性
- ① 地域医療構想、医師確保、医療費適正化等の計画・政策論
- 各論 ② レセプトやDPCデータを用いた地域医療の分析・活用方法
- ③ 地域毎の医療供給のあり方、公立病院経営強化等政策展開の方法・実践論等



医療政策の企画・立案能力の向上

演習

- ① 事例演習…………… 具体的な問題事例を通じ、原因の分析、政策課題の抽出、解決方策の企画立案
- ② テーマ別グループ討議…… 受講生の関心事項等を踏まえテーマを設定し、グループ討議
- ③ 個別発表…………… 研修当初に受講生が問題意識を紹介
研修の最後に受講生が研修成果をプレゼンテーション



研修成果発表

■2024年度医療政策短期特別研修時間割

日付	1限 (9:00-10:20)	2限 (10:30-11:50)	11:50-12:10	12:10-13:20	3限 (13:20-14:40)	4限 (14:50-16:10)	5限 (16:20-17:40)	17:50-18:40
対面(集合)／オンライン	7/25 木 ガイダンス、自己紹介	日本の新型コロナウィルス対策	振り返りセッション(オリエンテーション)	昼休み	医療政策概論 日本の医療政策の変遷①②		予習用DVD視聴(～17:20)	振り返りセッション
	7/26 金	医療政策概論 日本の医療政策の変遷③④	振り返りセッション	昼休み	医療政策概論 日本の医療政策の変遷⑤⑥		振り返りセッション	
	7/29 月	人口推計の手法	老年学から見た高齢者の特性：フレイルの社会的側面へのアプローチ	振り返りセッション	昼休み	医療政策概論 日本の医療政策の変遷⑦⑧		修了生報告会 懇親会(17:30頃～)
	7/30 火		医療に関する各種調査データ	振り返りセッション	昼休み	診療報酬制度と政策	医師確保と医師の働き方改革について	振り返りセッション
	7/31 水	介護報酬制度：令和6年度介護報酬改定を振り返る	国民健康保険をめぐる動向	振り返りセッション	昼休み	医療計画と地域医療構想	在宅医療の実際と展望	振り返りセッション
	8/1 木	飯伊地区包括医療協議会と飯田医師会の取組	住宅行政と福祉行政の連携	振り返りセッション	昼休み	疾病予防と医療費適正化・データヘルス計画・保健事業と介護予防の一体的実施	自治体における生活習慣病予防戦略	振り返りセッション
	8/2 金	医療介護連携について	高齢者医療制度の現状と課題	振り返りセッション	昼休み	介護保険制度と介護保険事業計画	宮崎県の周産期医療システム	振り返りセッション
日付	1限 (9:00-10:20)	2限 (10:30-11:50)	11:50-12:10	12:10-13:20	3限 (13:20-14:40)	4限 (14:50-16:10)	5限 (16:20-17:40)	17:50-18:40
対面(集合)	8/5 月	顔合わせ(9:20～)	オープンデータを用いた地域把握の実際(9:40-11:40)	振り返りセッション	昼休み	疾病構造・医療資源(医師数等)の将来推計方法/DPCおよびレセプトデータの活用方法	日本の介護保険の特徴と課題～国際比較の観点から	振り返りセッション
	8/6 火	保健医療介護が連動する地域包括ケアの実践例	グループ討議		昼休み	グループ討議	公立病院改革と地域医療の方向	振り返りセッション
	8/7 水	人が尊厳を保ち生きるための医療提供体制とは大都市地域密着型急性期病院の視点	介護保険制度と高齢者医療制度の創設時の回顧と展望	振り返りセッション	昼休み	演習①	北海道の医療・介護提供体制の現状と課題(講義・ディスカッション)(14:50-16:50)	振り返りセッション
	8/8 木	病院の看護の役割	専門分野としてのプライマリ・ケアの在り方	振り返りセッション	昼休み	看護政策・訪問看護	演習②	新しい健康・地域づくり～宇都宮市医師会社会支援部の活動から見えたもの～
	8/9 金	補講	ポストパンデミックの地域医療を考える培われた地域連携の展開	振り返りセッション	昼休み	個別発表・修了式(13:20-18:00)		



研修生の声

高梁市健康福祉部地域包括支援センター
社会福祉士(主幹)

倉橋 重昭



病院の地域連携室、地域包括支援センターに社会福祉士として勤務をしていた中で、医療・介護施策が市民の生活を支える上で非常に重要なものであると日々痛感していたところ、この研修が開催されることを知り、申し込みさせていただきました。

この研修では、医療のみならず介護政策の基礎的事項から今後の国の施策動向、データに基づいた地域分析、先進自治体の取組みなど幅広く学ぶ事が出来ました。何より、受講生同志で研修内容を毎日ディスカッションする事で、大きく学びを深める事が出来たのは大きな収穫でした。

研修終了後も受講生同志の繋がりが続いており、研修だけにとどまらない自身の大きな財産となっています。研修で得たものを活かして、今後も自治体職員として業務に励んでまいります。

川口市保健部疾病対策課
課長補佐兼感染症係長

田辺 香苗



本研修では、国の政策の変遷、理念・課題、具体的な政策展開を体系的に学ぶことができます。

初日のDVD視聴で自分の専門職としての知識の偏りに気づくことができ、毎回の「振り返りセッション」では職種や地域、異なるバックグラウンドの多方面の意見を聞いたことで知見を深めることができました。

本研修で出会う講師は、みなさんパワフルで心が震えました。政策とは一夜の議論で出来上がるものではなく、歴史、その地域での取組みの醸成が作用し、リーダーによる対話や調整等により地道に作り上げられていることが分かりました。医療だけではなく保健・福祉・介護一連の政策についても学ぶことができ、最終的に「地域包括ケアシステム」の真の意味を理解することができました。

研修で得た学びと仲間を大切に、管理職として地域の予防活動に資する政策展開をしていきたいと思っています。

国立研究開発法人
国立国際医療研究センター病院
入退院支援センター 副看護師長

齊藤 大介



医療政策の概論、地域医療構想や医療介護福祉の連携、看護政策の各論など学び、業務における課題を明確にすることを目的に受講しました。緻密なプログラムによって医療政策の専門家、関連省庁の幹部や著名な実践家から講義を受けることができます。講師やフィールドの異なる受講生との交流を通して多角的な視点が養えます。

看護教育の中で医療政策を体系的且つ濃密に学ぶ機会は多くありません。研修を通して政策変遷・理念・課題を考察することで政策の骨格や意義が明確になりました。学習成果を地域連携、看護管理、国民参画に分け、8つの課題を自身に課しました。

受講を検討中の方は勇気を持って一歩を踏み出すことで新たな学びや課題、人脈を得ることができます。

募集要項

- 研修実施期間 2025年7月24日(木)～8月8日(金)(※土曜日に講義を行う可能性あり。)
- 研修場所 政策研究大学院大学での集合研修とオンラインを併用する予定です。
- 定員 30名
- 出願期間 2025年3月24日(月)～5月16日(金) 厳守
- 選考結果連絡 2025年5月30日(金) 頃
- 受講費用 110,000円(税込)(予定)(※別途、指定図書の購入時の費用負担あり。)
- 出願方法 所定の申請書類のほかに、所属機関の長の推薦状等が必要です。
出願資格や必要書類等については、募集要項をご覧ください。
HPでもご覧いただけます。(https://www.grips.ac.jp/jp/training/domestic/)
- 問い合わせ先 政策研究大学院大学 医療政策コース
[住所] 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
[Eメール] iryou-seisaku@grips.ac.jp
[電話] 03-6439-6290(直通) [FAX] 03-6439-6040



政策研究大学院大学

NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES